

# 新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成28年6月21日掲載)

貸出と予約の開始は6月21日(火曜日)、インターネット予約の開始は6月28日(火曜日)です

『鯰絵で民俗学 その文化と信仰と』
細田 博子／著
里文出版
「鯰は震源地へ行って、地震を起こす」という俗信はどこから言い伝えられたのか？ だれが鯰絵を描いたのか？ 鯰にまつわる民話や伝承、俗説を集め、鯰を民俗学の視点から捉え直し、鯰信仰の起源、鯰絵の謎などに迫る。 佐賀の鯰に関する伝説、俗信、食の言い伝え等の掲載がされている。
請求番号：387/ H93

『鉄客商売 JR九州大躍進の極意 』
唐池 恒二／著
PHP研究所
ルーズトレイン「ななつ星in九州」の企画立案から陣頭指揮を執った著者が、ななつ星の食とサービスに大きな影響を与えた外食事業時代に学んだことや、ななつ星のマーケティング戦略などを綴る。 ななつ星のために作った、第14代酒井田柿右衛門氏の有田焼の洗面鉢が掲載かされている。
請求番号：686/ KA62

『岳飛伝 17 』
北方 謙三／著
集英社
岳飛と秦容は、南宋の程雲との最

『静物画にひそむ謎。』
「物・語-近代日本の静物画-」展の公式図録兼図書
求龍堂
静物画の魅力を徹底探求! 近代日本における優れた静物画97点を収集し、3章に整理分類して紹介する。作家略歴・作品解説等も掲載。2016年5～7月に福岡市美術館で開催される展覧会の図録。佐賀県出身の小代為重の作品が掲載されている。
請求番号：723.1/ SE17

『教科書には載っていない戦争の発明』
熊谷 充晃／著
彩図社
闇夜に作戦書を読むために作られた点字、毒ガス開発から生まれた抗癌剤、戦前の日本が作った健康保険制度と源泉徴収…。戦争が終わってから民生品に転用された“戦争の発明”について、意外な経緯や戦争との関わりを解説する。 佐賀藩出身の佐野常民の記載がされている。
請求番号：507.1 /KU33

『一遍上人と遊行の旅』
上田 薫・佐藤 洋二郎／著
松柏社
紙切れでしかない念仏札。それを

後の戦いに挑み、さらに呼延凌らと合流して、金国との一大決戦を目指す。兀朮との闘いで重傷を負った史進の生死は? 感動の最終巻。『小説すばる』連載を単行本化。  
著者は、佐賀県出身。

請求番号 : F/ KI/65 17

配る一遍の、死に至るまで続けられた厳しい一所不住の半生。踊り念仏の目的は何か? 一遍が還俗後に、再び阿弥陀仏に導かれた理由とは? 上人の足跡を辿りながら、真の姿に迫る共作。

肥前清水寺として、小城市にある、天台宗清水山見瀧寺宝地院の掲載されている。"

請求番号 : 188.6/ U32

[→バックナンバーはこちら](#)

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

---

## 郷土資料室の新作資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。  
郷土資料室での閲覧をお願いします。

---

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)